

編集室

2020.30 (にいまる にいまる さんまる)

1月19日広島県議会議員安芸郡選出の伊藤真由美氏の新年互礼会があり出席した。広島県議会においては議員66名、うち女性議員は広島市中区の日下美香氏、安佐南区の河井案里氏、安佐北区の渡辺典子氏、そして安芸郡の伊藤真由美氏の4名で1割にも満たない。政治の世界ではジバン(地盤)、カンバン(看板)、カバン(鞆)に象徴されるように三つのバンが必要で、女性にとっても、組織、知名度、資金はいずれも大変である。

昨年10月、世界経済フォーラム(WEF)は「The Global Gender Gap Report 2013」を発表した。毎年WEFが、国際労働機関、国連開発計画、世界保健機関などのデータを参考に、①経済活動の参加と機会 ②教育 ③健康と生存 ④政治への関与の4分野の男女の格差を指数化し、各国を順位付けしている。上位ほど男女の格差が少なく、1位はアイスランドで最も男女が平等に近い国、ついで2位フィンランド、3位ノルウェー、4位スウェーデンで北欧が上位を占めている。日本は105位で、前年の101位、前々年の98位に続いてランクダウンしており、アメリカは23位、アジアではフィリピンが5位、中国が69位、韓国が111位であった。政治分野における女性の割合や女性管理職の割合の低さがわが国の順位に反映されていると内閣府男女共同参画局総務課はコメントしている。AP通信は、日本において女性は雇用、昇進、賃金あらゆる面において差別を受けていると伝え、女性は同等の労働に対し男性の70%しか報酬が得られず、

管理職に占める割合はわずか12%、役員にいたってはたったの3.9%である。ちなみにアメリカは12%、フランスは18%であると伝えている。

1972年勤労婦人福祉法が制定施行、そして1985年によく男女雇用機会均等法が制定された。1999年には男女共同参画社会基本法が成立し、2010年の第3次男女共同参画基本計画では社会のあらゆる分野で、2020年までに指導的地位に女性の占める割合を少なくとも30%程度とする目標が掲げられた。いわゆる「2020.30」である。2013年衆議院議員8.1%、参議院16.1%、2012年都道府県議会議員8.7%、市区議会議員13.4%、町村議会議員8.6%、医師19.6%、歯科医師21.5%、弁護士17.5%で、現状値はまだまだ低く、妊娠、出産、子育てなど、専門性の高い職業に従事する者にとって保育所等就労環境整備は不可欠である。女性の社会進出が進んでいる国ほど合計特殊出生率も高く、女性の社会進出率と出生率は相関している。さらに「日本のGDPは女性の活用で15%は上がる」というウーマノミクスを成長戦略に取り入れた社会基盤整備の充実がアベノミクスに必要不可欠である。2020年オリンピックも女性のパワーに委ねられている。2013年国試合格女医3割(32.7%)の時代に日医、県医師会、市郡地区医師会の女性役員は1割に満たない状況であり、2月14日、日医で開催される「2020.30推進懇話会」でのポジティブアクションに期待したい。

(菅田 巖)

広島県医師会速報 2014年(平成26年)2月5日

- 発行所／社団法人 広島県医師会 〒733-8540 広島市西区観音本町一丁目1番1号 TEL 082-232-7211 FAX 082-293-3363
広島県医師会HP <http://www.hiroshima.med.or.jp/> E-mail: kouhou@hiroshima.med.or.jp
- 編集者／広島県医師会会長 平松 恵一
(広報委員)生田 隆徳、豊田 神敬、小園 亮次、佐々木 龍司、豊田 章宏、中尾 三和子、奈良井 章人
林谷 道子、檜山 桂子、茗荷 浩志、吉田 良順、小笠原 英敬、水野 正晴、岩崎 泰政
- 印刷所／レタープレス株式会社 〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5 TEL 082-844-7500 FAX 082-844-7800